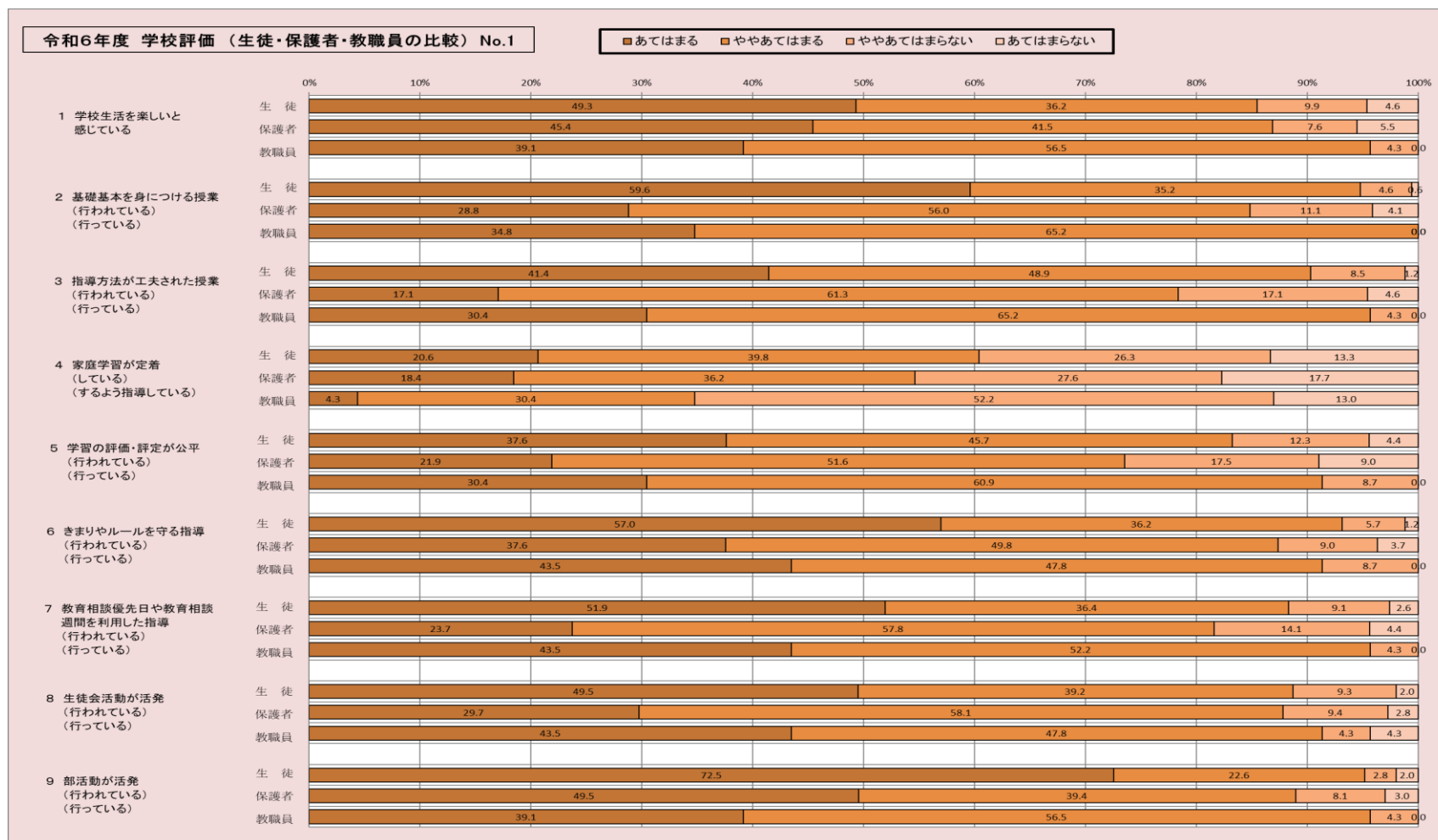


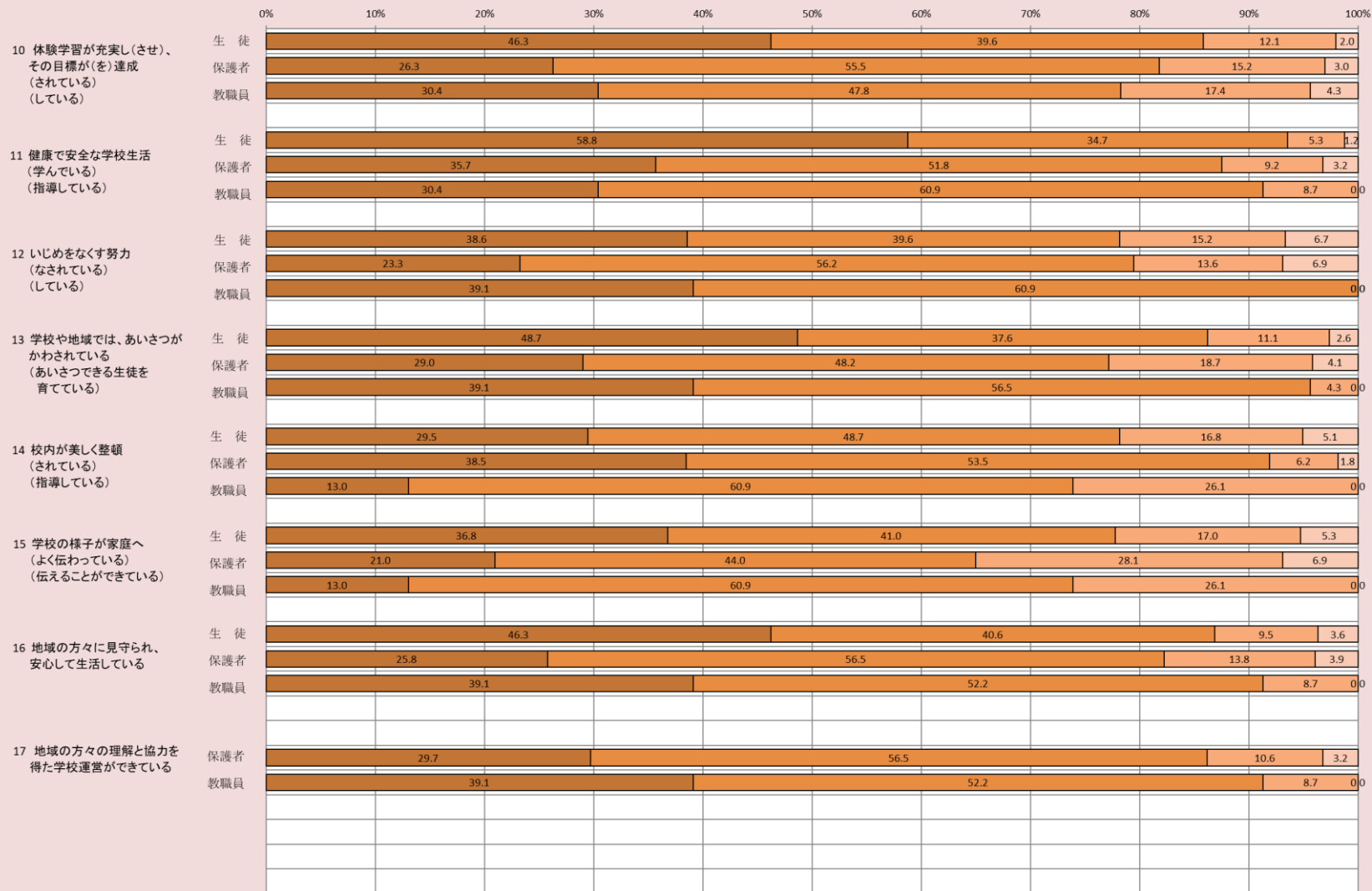
学校評価アンケート結果報告

学校評価アンケート(12月実施)のご協力ありがとうございました。本アンケートは、全生徒・保護者・教職員に対してLINE配信でアンケートを実施しました。(令和6年12月)。三者のアンケート内容は16項目を同じ質問とし、1項目保護者、教職員のみでの質問としました。生徒・保護者・教職員の回答を集計した結果、グラフのような結果となりました。



令和6年度 学校評価（生徒・保護者・教職員の比較）No.2

■あてはまる ■ややあてはまる □ややあてはまらない □あてはまらない



1 アンケート内容

質問2～5を「学習面」、質問6～7を「生活面」、質問8～11を「教科外での活動面」、質問12～15を「生活面で特化した内容」、質問16、17を「地域連携」とした。質問17に関しては保護者と教職員のみに行った。

2 アンケート集計方法

生徒、教職員の集計についてはChromeBookを利用して行った。昨年度に引き続き、保護者に対しても、GoogleのFormsを利用し、LINE配信にて実施した。

3 アンケート分析と今後の課題

質問2～5の「学習面」については、概ね肯定的な回答であった。しかし、質問4「家庭学習が定着している」については、生徒・保護者ともに約4割が否定的な回答であった。この質問については、これまでも同じような傾向があり、今後も教師のアプローチの仕方や各教科、各学年・学級での取り組み、また、家庭との情報共有や連携をとしての取り組みなど、工夫していく必要がある。

また、質問3「指導方法が工夫された授業が行われているか」や質問5「学習の評価・評定が公平に行われているか」などについて、生徒の9割以上が肯定的回答であるが、保護者には否定的な回答が約2割あることから、指導方法についての工夫に努めるとともに、生徒、保護者に理解を促す必要がある。

質問6～7の「生活面」についての質問については、概ね肯定的な回答となった。今後も少しでも生徒が安心して落ち着いて学校生活を送っていける環境を作っているようにしたい。

質問8～11の「教科外での活動面」については、概ね肯定的な回答となった。質問10「体験活動が充実しているか」の質問に肯定的な回答が増加したのは、コロナ禍にできなかった職場体験活動などの体験活動が、以前のように実施することが可能となってきたためではないかと思われる。

質問12～14の「生活面で特化した内容」については、概ね肯定的な回答となっているが、質問15「学校の様子を伝えることができているか」では、保護者の約3割以上が否定的に捉えており、情報発信の仕方の改善・工夫が必要である。また、他の質問に対する回答において、生徒、保護者と教師との間に捉え方に違いも見られるため、今後も啓発活動や指導方法の改善に取り組んで行く必要がある。

質問16、17を「地域連携」については、概ね肯定的な回答となっているが、さらに地域との連携を深めるとともに地域連携について、家庭への情報発信などを工夫していきたい。